

平成19年4月13日

社団法人北海道浄化槽協会

会 員 各 位

(社)北海道浄化槽協会

浄化槽保守点検記録票の様式変更について

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より当協会の運営につきましては、格別のご配意を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月より浄化槽保守点検記録票の一部を変更し販売することになりました。

当協会での販売について、下記のようになりますので、会員各位にお知らせいたします。

記

1 保守点検記録票の人槽区分変更 (合併処理浄化槽)

従来	変更	平成19年4月以降
5人～10人槽用		5人～ <u>50人槽用</u>
11人槽以上用		<u>51人槽以上用</u>

2 5人～50人槽用(小型合併用)の様式変更 (別紙1参照)

平成16年8月16日付け環境省浄化槽推進室長通知(環廃対発第040816001号)による「浄化槽維持管理基準等検討委員会の報告書」において、浄化槽保守点検記録票の新しい様式が示されました。また、平成19年1月15日に札幌で行われた「保守点検・清掃の記録票に関する講習会【開催:(財)日本環境整備教育センター】」では、新たな記録票の様式について説明が行われました。これらのことから、平成19年4月より、当協会では販売する保守点検記録票の様式を変更いたしました。

上記については、今後改訂される予定の「北海道浄化槽指導指針」に掲載される予定です。
販売する保守点検記録票は変更されますが、従来の記録票が使用できなくなるものではありません。
単独処理浄化槽の様式については、変更を行っていません。

3 保守点検結果説明資料 (別紙2参照)

「浄化槽維持管理基準等検討委員会の報告書」において、浄化槽保守点検の結果を浄化槽管理者によりわかりやすく説明できるよう、『保守点検結果説明資料』の活用について提案されています。当協会においても販売することになりましたので、お知らせいたします。是非、ご活用下さい。(2枚複写、カラー、1冊50組、価格【会員1,500円、一般2,000円】)

以上

小型合併処理浄化槽保守点検記録票 (5人~50人槽用)

施設名称 (使用者) **△△ △△**

浄化槽管理者 (設置者) **同上**

建築物用途 **住宅**

住所 **〇〇町〇〇 〇-〇**

浄化槽のメーカー・型式 **〇〇社 〇〇**

処理方式 **〇〇〇〇** 方式

保守点検業者

会社住所 **(会社〇〇印 等)**

電話番号

保守点検登録番号 浄保 **〇〇** 第 **〇〇** 号 担当者 **〇〇 〇〇** (管理者番号) **〇〇〇〇〇**

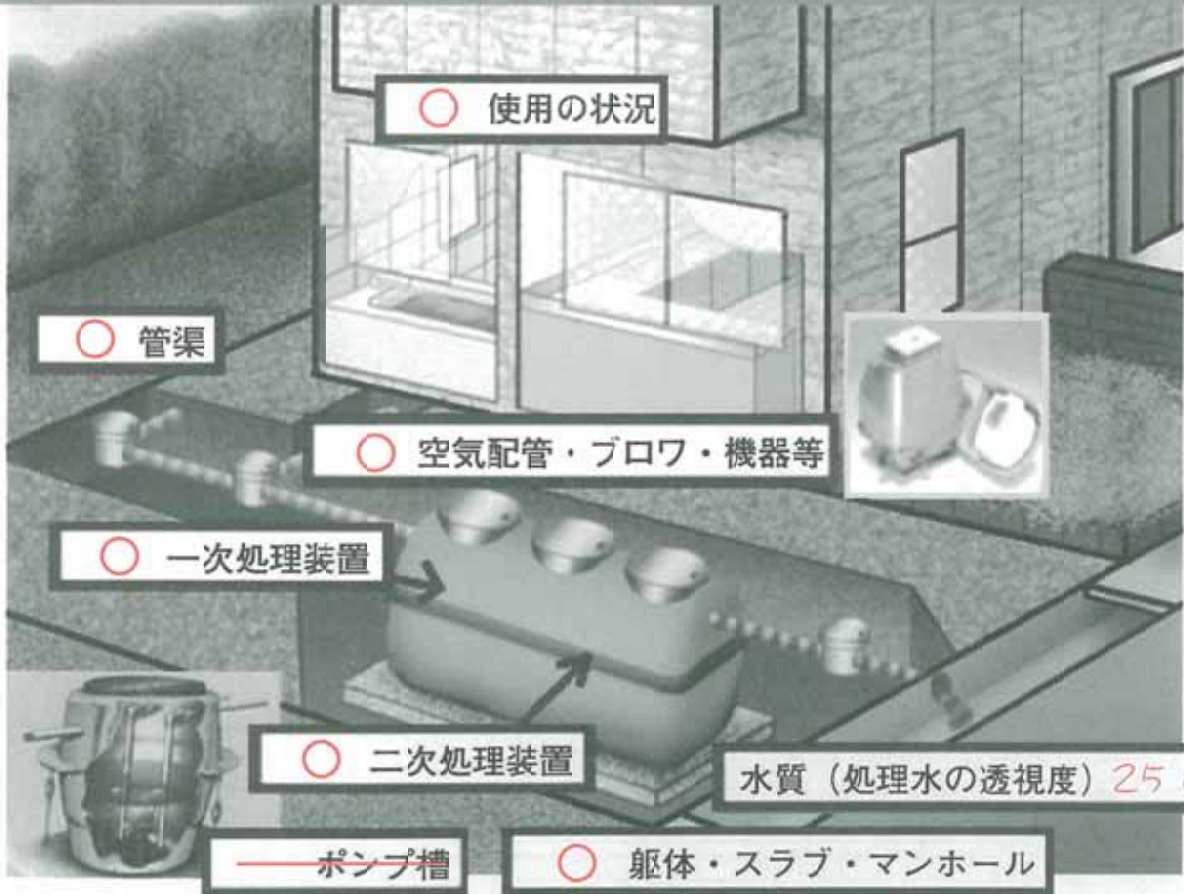
前回の点検日時	18年 11月 6日 13時	8 各単位装置共通	12-1 沈殿槽
点検日時	19年 3月 1日 10時	衛生害虫の発生状況	0 一次・二次 懸濁せきの水平・固定状況
前回の清掃日	18年 4月 1日 時	臭気発生状況	0 一次・二次 スカムの蓄積状況
処理対象人員	5 人槽	槽内水のオーバーフロー	0 一次・二次 汚泥の蓄積状況
1 使用の状況		水位上昇の痕跡	0 一次・二次 12-2 処理水槽
人員比 (BOD負荷)	人員比 0.8	短絡水滴の形成	0 一次・二次 スカムの蓄積状況
日平均汚水量	読み値 2133.5 m ³	内部設備の変形・破損	0 一次・二次 汚泥の蓄積状況
(水道メータ等から: m ³ /日)	計算結果 0.9 m ³ /日	隔壁の漏水	0 一次・二次 13 消毒槽
流入の状況	→異常	9- 一次処理装置共通 第1室	スカム・堆積汚泥の蓄積状況
2 躯体・スラブ・マンホール		スカムの蓄積状況	0 20 cm 消毒剤の状況 (膨脹・閉塞等)
マンホール等の破損状況	0	汚泥の蓄積状況	0 30 cm 消毒剤の接触・調整状況
スラブの変形・破損等	0	移送口の状況	0 消毒剤の消費状況・補充量
躯体の変形・破損	0	9-2 一次処理装置共通第2室以降	14-1 水質
荷重の状況	0	スカムの蓄積状況	0 5 cm 好気性生物反応槽内DO (mg/L)
躯体の浮上・沈下の状況	0	汚泥の蓄積状況	0 20 cm 生物反応槽の亜硝酸反応 (GR)
漏水の状況	0	移送口の状況	調整 減 処理水のpH
躯体の水平の狂い	0	10 好気性生物反応槽共通	槽内水温 (°C)
マンホールからの雨水・土砂の混入	0	ばっ気操作の状況	0 →ばっ気量 一次処理流出水透視度
3 管渠		空気配管等 (厚さ・破損)	0 調整 一次処理流出水のpH
管渠の接続合	0 →異常部位	微小棲動物の増殖状況	0 →異常
管渠の破損	0 →異常部位	11-1 接触ばっ気槽	透視度 29.0 cm
管渠からの雨水・地下水・土砂の流入	0	接触剤・移送部の状況	0 放流水残留塩素濃度 (mg/L)
流入管渠の勾配不良	0	副産汚泥の状況	0 14-2 窒素除去型水質
放流管渠の勾配不良	0	生物膜の状況	0 逆洗・無逆洗・汚泥移送
放流管からの逆流	0	逆洗装置の作動状況	0 →
管渠におけるスライム等の付着状況	1 →異常部位	11-2 担体流送槽	15 流入 (中継) ポンプ槽・放流ポンプ槽
4 ブロワ・制御機器	沈殿槽汚引機ポンプの設定 1回当たりの作動時間 (分)	担体の状況 (摩耗等)	0
ブロワの作動状況	0	担体の流動状況	0
制御・安全機器の作動状況	0	担体の充填状況	0
5 空気配管 (埋設管)	→作動時刻	11-3 生物ろ過槽	ろ過装置流入部の水立
空気配管の閉塞	0	担体の状況 (摩耗等)	0
空気配管の破損	0	ろ過装置流入部の水立	0 cm
6 循環装置	調整前 調整後	逆洗装置の設定	0 0 日 0 分
循環装置の作動・調整状況	1 1.8 L/分 2.2 L/分	逆洗装置の作動状況	0
7 流量調整装置	調整前 調整後	担体の充填状況	0
流量調整装置の作動・調整状況	1 2.8 L/分 2.9 L/分		
消耗品、部品の交換			
消耗品及び交換部品の履歴	(状況説明)		
所見			

【異常の有無を記入する項目】 0 正常です。1 調整しました。2 部品の交換等の改善を行いました。3 要観察、次回の保守点検まで様子を見ます。4 部品の交換、修理等の改善が必要です。
 (二次処理流出水のpH) 0 濁り (微粒子) がほとんどない・水に臭気がない 1 濁り (微粒子) がほとんどない・水に臭気がある 2 濁り (微粒子) が少し認められる・水に臭気がない
 3 濁り (微粒子) が少し認められる・水に臭気がある 4 濁り (微粒子) が認められる・水に臭気がない 5 濁り (微粒子) が認められる・水に臭気がある
 ※3部を作成し1部を設置者、1部は保守点検業者各4が3年間保存し、1部を市町村に提出しなければならない。

保守点検結果説明資料

△△様

会社 担当 ○○ TEL



残留塩素濃度は 0.1 mg/Lでした
 消毒剤を 0.8 kg補充しました。

その他：

